

まちのレシピ その⑨

まちをつくるには建築だけではなく、コミュニケーションも大切な要素のひとつ。
今回は、『チカちゃんハウス』をより一層素敵に見せる、空間の「盛りつけ」方をご紹介します。
文・写真=赤松麻衣 もしもし広報担当

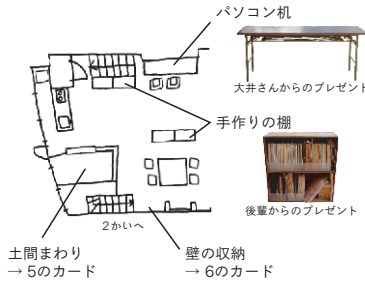


1 今回のお題

素敵な
盛りつけ方

住みコミュニケーションプロジェクト

2 盛りつけ図



工事も終盤を迎え、いよいよ仕上げ作業の始まりです。
パテ埋め、ペンキ塗り、土間づくりにお掃除。家具や
収納も配置し、空間をどんどん盛りつけていきます。

3 あせらずゆっくり

まずはパテ埋めから始めました。釘を抜いた
後の穴や、化粧板同士の隙間にパテを埋めて
いきます。大きな隙間には、サイズに合わせ
て木材をはめ、ペンキがきれいに塗れるよう
にしていきました。しっかりと埋めたはずの
パテが、翌日にはひび割れていることがしば
しば。「一度に隙間を埋めてしまうとパテが
やせてしまう」と、近所の職人さんに教えて
いただき、二日に分けて作業を進めていくこ
とにしました。

次はペンキ塗り。ペンキは、大井さんの友
人の塗装屋さんにもらったものを使いました。

4 大きな黒板



仕上げた壁に黒板を設置しました。工事予定を書き、
行程の確認。ここで「今の子どもに遊びを教えたい」と、
熱弁する大井さん。どんな授業をしてくれるのかな。

5 土間のつくり方

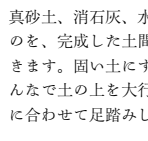


ペンキ塗りと平行して土間づく
りをしました。まずは、土間を
囲む縁の大ききの検討。余った
角材を立てかけ、それにビニ
ールテープを巻いてひと工夫。

テープの位置を確認しながら型
枠をつくります。足で踏み面な
ので、中に鉄筋を入れました。
コンクリートを流し、一日置い
たら土間縁の完成です。



土間は2階の住みコミストの玄
関にもなる場所。階段につなが
る踏み場をつくりました。階段
下は収納棚にして、細かい工具
をしまう場所を確保しました。

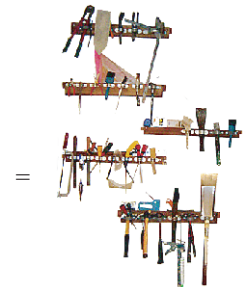
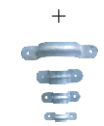


真砂土、消石灰、水を混ぜたも
のを、完成した土間の縁内にし
きます。固い土にするため、み
んなで土の上を大行進。音楽を
に合わせて足踏みしました。



翌日確認すると、カチカチに土
間が固まっていた。土が靴の
裏に付いてくる心配もありませ
ん。ひと休みするにも、ちょ
うどいい高さに仕上がりました。

6 大変身



近所の解体現場からもらった窓枠とサドルを組み合
わせて、壁に工具の収納場所をつくりました。これで探
す手間もなくなり、一目で欲しい物が手に取れます。

7 今月の逸材



大井さん(右)が紹介してくれた、友人の森上安次さん。
とても器用で、あっという間に化粧板を張ってくれま
した。趣味は狩猟で、いつも楽しい話をしてくれます。

8 できあがり



これで工事は全て終了。これからここが、住みコミュ
ニケーションプロジェクトの拠点となっていきます。
今回は、チカちゃんハウスの使われ方を紹介します。